

精神科認定看護師受講資格審査 出願の手引き

1. 受講資格審査の出願の流れ
2. 出願要件について
3. 出願書類の記入方法
4. 研修会システム「マナブル」の利用登録
5. 出願手続きチェック表

1. 受講資格審査の出願の流れ

- ・受講資格審査の出願から受験までの流れは、下記のとおりである。
- ・会員は、「日本精神科看護協会」に入会手続きを行い、当該年度の会費を支払っている必要がある。
- ・入会手続きは、8月までに行っておくことが望ましい。

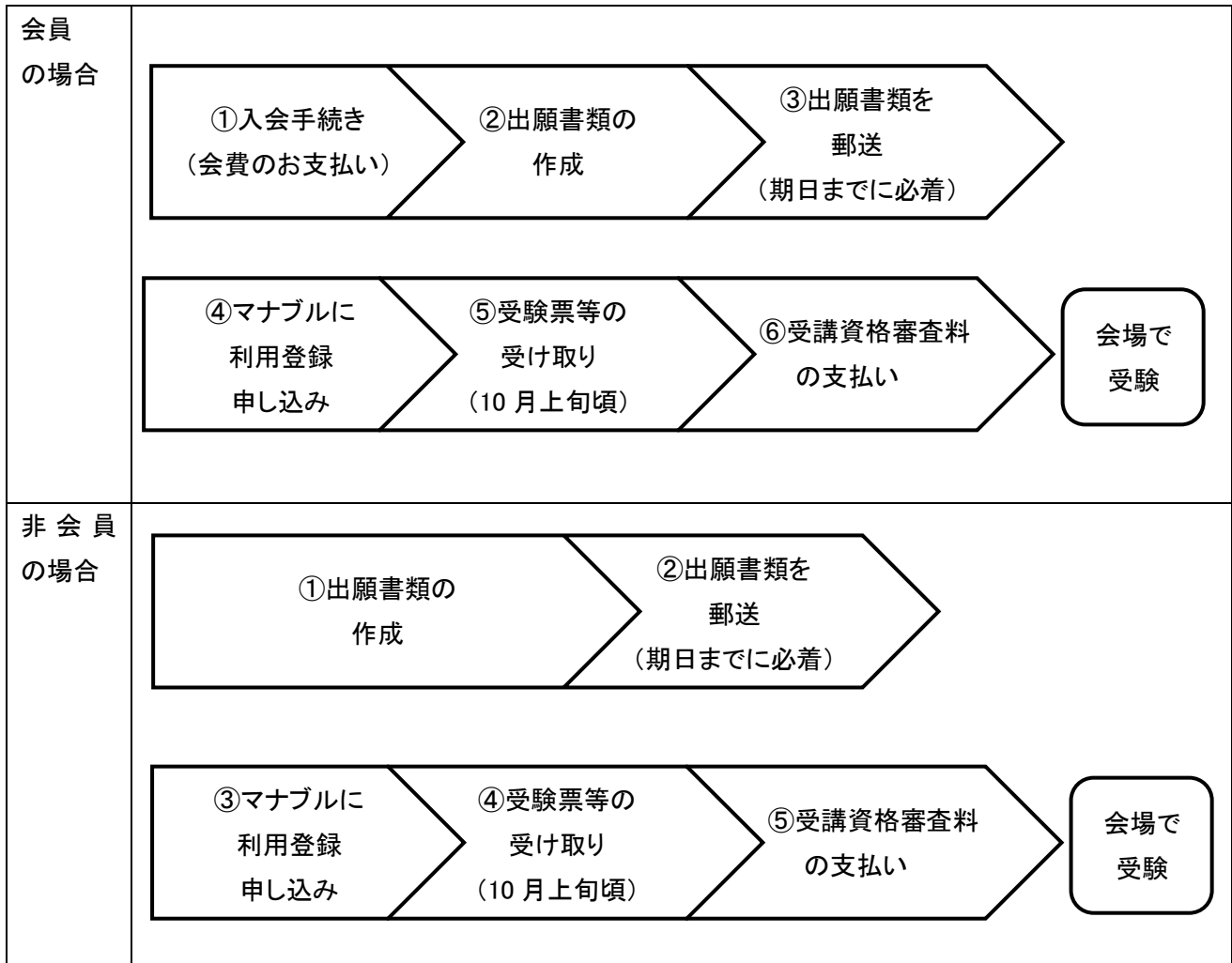


図1 受講資格審査の出願の流れ

2. 出願要件について

1. 受講資格審査の出願に必要な実務経験について

- ・受講資格審査に出願の時点で表1の要件を満たすことが必要である。見込みでは出願を受付けていない。
- ・「精神科看護実務」に該当する勤務経験を表2に示す。

表1 受講資格審査の出願要件

1. 日本国の看護師の免許を有すること。
2. 精神科認定看護師として必要な実務経験を積んでいること。
ここで必要な実務経験とは、看護師の資格取得後、通算5年以上の看護実務に従事し、そのうち通算3年以上は精神科看護実務に従事していること。

表2 精神科看護に該当する勤務経験の例

- ・精神科病院、精神科病棟、精神科外来における勤務
- ・精神科以外の病院や施設での認知症患者やせん妄、うつ状態の患者に対する看護
- ・精神障がい者や認知症患者に対する訪問看護
- ・精神障害、知的障害、発達障害等の施設や事業所における勤務
- ・精神保健福祉センター、保健所、教育機関、一般企業等における精神保健に関する業務

2. 出願要件に関する Q&A

Q1:精神科病棟での勤務経験は必ず必要か？

A:表2に示すとおり、精神科看護実務は、精神科病棟での勤務経験に限定していない。総合病院、大学病院などにおいて、認知症患者、せん妄、うつ状態の患者の看護経験も精神科看護経験として認めている。

Q2:准看護師の勤務経験を含んでもよいか？

A:精神科認定看護師教育課程は、看護師としての経験を積んだ上で学びを深めていくため、准看護師の勤務経験は含まない。

Q3:非常勤での勤務経験は、実務経験として計算してよいか。

A:非常勤の勤務経験は、常勤換算によって算出した年数を実務経験年数として計算する。下記の計算式により月単位で常勤換算年数を算出し、様式2の②非常勤用に記載する。

【計算方法 A～Cは様式2の②非常勤用に対応している】

「A 1か月あたりの勤務時間数」×「B 実年数(月単位)」÷150時間＝「C 常勤換算年数(月単位)」

【例】1か月あたり75時間で10年間の勤務を行った場合

「A 75時間」×「B 120月」÷150時間＝「C60月(5年間)」

3. 受講資格審査の出願書類の記入方法

- ・記入にあたっては、パソコンで作成しても、手書きでもどちらでも差し支えない。手書きの場合は、ボールペンを使用して記入する。
- ・自筆署名と記載がある項目については、手書きで名前を記入する。
- ・間違えた場合は、二重線を引いて修正し、訂正印を押す。修正液や修正テープは使用しない。
- ・書類を封入する前に「5. 出願手続きチェック表」を確認する。
- ・年号の記入は西暦に統一する（混在して記載しないこと）。参考資料の和暦・西暦早見表を確認するとよい。
- ・出願書類の提出先は、出願要項を確認する。また、郵送の際は、配達状況を確認できるレターパックなどを利用し、各自で配達状況を確認すること。

1. 様式1について

- ・具体的な記入方法を記入例1に示す。
- ・6か月以内に撮影したカラー写真を指定の場所に貼付する。
- ・「会員種別」欄の「会員番号」は、日本精神科看護協会の会員番号を記入する。入会していない場合は、非会員に○印をつける。
- ・「職歴」欄は、看護師免許取得後の勤務期間を記入する。
- ・「職歴」欄が書ききれない場合は、様式1を追加して書ききれなかった項目を記載する。この場合は、様式1を記載した枚数分を提出する。
- ・様式1に記載した職歴と、様式2の記載内容が一致していること（「勤務施設名」欄と「看護実務経験」欄の勤務期間等）
- ・「共通科目の履修免除申請」欄については、特定行為研修を修了し、かつ、共通科目の履修免除を希望する場合のみ「希望する」にチェックをつける。それ以外は、「希望しない」にチェックをつける。

記入例 1

(様式 1)

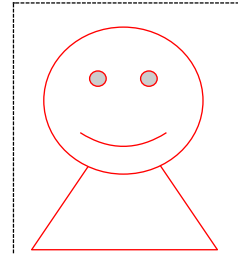
精神科認定看護師受講資格審査出願書

*協会記入欄

受験番号
受付日

日本精神科看護協会 会長 殿

私は、精神科認定看護師教育課程を受講するために
受講資格審査に出願をいたします。



202●年 9 月 1 日現在

ふりがな	にっせいかん はなこ (自筆署名)	男・ 女	生年月日	1976年5月15日(42)才
出願者氏名	日精看 花子		会員種別	会員番号(000001)・非会員
看護師 免許証	登録年月日	登録番号		
	2008年4月10日	000000001		
職 歴	勤務期間	施設名		
	2008年4月 ~ 2011年3月	医療法人○○会○○病院		
	2011年4月 ~ 2018年9月現在	○○総合病院		
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	合計	10年 5カ月		
共通科目の履修免除申請	<input type="checkbox"/> 希望する(特定行為研修修了証のコピーを提出) <input checked="" type="checkbox"/> 希望しない			
所属施設名	○○総合病院			
所属施設住所	〒000-0000 東京都港区港南○-○-○	連絡先(施設・自宅・ 携帯) TEL 090(0000)●●●●		
結果通知先住所	(施設 ・ 自宅) 〒 同上			

看護師免許取得後の
職歴を記入

*記入例を示しています *年号の記入は西暦に統一してください

2. 様式2について

- ・様式2は、出願要件に関する勤務状況を証明する書類である。様式1に記載した全ての職歴についての勤務証明は必要ないが、出願要件を満たす年数以上の証明を受けること。複数の施設の証明が必要な場合は、施設毎に様式2を作成する。
- ・様式2は、①常勤用、②非常勤用の2種類がある。非常勤の場合は、看護実務経験の常勤換算の計算をするための項目が設けられている。（実務経験の計算方法については、次ページ参照）
- ・提出する時は、記載者によって厳封し、開封されたものは無効とする

1) 記載者について

【現在の職場の勤務で出願要件を満たしている場合】

- ・現在の職場の直属の上司に「看護実践力」「役割」「指導力」欄について記載を依頼する。以前に勤務していた職場に記載を依頼する必要はない。
- ・具体的な記入方法を記入例2に示す。

【現在の職場の勤務だけで出願要件を満たさない場合】

- ・「現在の職場」と「以前に勤務していた職場」を合わせて出願要件を満たしていることを証明する必要がある。そのため、現在の職場と以前に勤務していた職場により記載された様式2を提出する。
- ・以前に勤務していた職場の上司、または、管理者に様式2の記載を依頼する場合、「看護実務経験」欄の記載は必須であるが、「活動実績」欄の記載は必ずしも必要ない。
- ・具体的な記入方法を記入例3に示す。

様式2 受講資格審査 出願者勤務状況証明書をご記載いただく方へ

この書類は、一般社団法人日本精神科看護協会の精神科認定看護師教育課程の入学試験である受講資格審査に関する書類です。本教育課程の受講にあたっては、「看護師の資格取得後通算5年以上の看護実務に従事し、そのうち通算3年以上は精神科看護実務に従事していること」という要件を定めています。つきましては、出願者の「看護実務経験」と「活動実績」について必要事項をご記入いただき、厳封をしてください。なお、出願者がすでにご退職等で在籍していない場合は、「看護実務経験」のみの記入で差し支えありません。記入にあたり、ご不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

それでは、どうぞ、よろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】

一般社団法人日本精神科看護協会
認定事業担当

〒108-0075 東京都港区港南 2-12-33 品川キャナルビル7階
TEL : 03-5796-7033 FAX : 03-5796-7034

2) 精神科看護実務について

- ・精神科看護実務に該当する勤務経験を下表に例示する。この場合は、「看護実務経験」欄の「精神科関連」の項目に記載する。これ以外の場合は、「他科」の項目に記載する。

【精神科看護実務に該当する勤務経験の例】

- ・精神科病院、精神科病棟、精神科外来における勤務
- ・精神科以外の病院や施設での認知症患者や、せん妄、うつ状態の患者に対する看護
- ・精神障がい者や認知症患者に対する訪問看護
- ・精神障害、知的障害、発達障害等の施設や事業所における勤務
- ・精神保健福祉センター、保健所、教育機関、一般企業等における精神保健に関する業務

3) 実務経験の計算方法

- ・「看護実務経験」欄は、勤務期間年数を記載する。入職した月から1ヵ月として計算する。
- ・入職時に看護師免許を取得していない場合は、看護師免許取得後の勤務期間を記載する。
- ・連続6ヵ月以上の研修、進学、産休・育休及び病欠などの休職、教育職、看護実務のない企業などの在職の期間は実務経験に含まない（記入例4）。
- ・精神科医療機関以外に勤務している場合、「診療科名・部門の特性」欄に直近1年間に担当した精神疾患が主病名の利用者数等も記入する（記入例5）。

記入例2 現在の職場の上司が記入する場合

*下記を参考に記入してください。現在の職場で出願要件を満たす場合は、以前の勤務先の証明書を提出する必要はありません。

(様式2) ①常勤用

受講資格審査 出願者勤務状況証明書

出願者が記載 (この欄は、ご自身で記入してください)

出願者氏名	日精看 花子			
勤務施設名 (施設ごとに作成)	●●総合病院			
看護実務経験	精神科 関連	勤務期間(常勤)	年数	診療科名・部門の特性
		20●●年4月～20●●年3月	5年 0カ月	整形外科病棟40床、認知症のある患者を常時1～2名程度担当した。
		20●●年4月～20●●年9月現在	年 5カ月	40床の精神科の急性期病棟、主に統合失調症、気分障害の患者が入院。
	他科	年 月 ～ 年 月	年 カ月	
		20●●年 4月～20●●年3月	2年 0カ月	消化器内科病棟40床
		年 月 ～ 年 月	年 カ月	
合計	7年 5カ月		(精神科看護の実務経験年数 5年5カ月)	

様式2は、勤務施設毎に記載する。勤務施設名は、勤務状況の証明を受ける施設名を記載すること。

病棟の診療科名や入院患者の疾患名が分かるように記載すること

上記の受講資格審査の出願者について、下記の内容に関してご回答いただきますようお願い申し上げます。なお、記載は直属の上司とし、記載者により厳封をお願いいたします。

看護実践力	職場での看護実践について記入してください。 看護実践においては、○○が優れている。
役割	職場で担っている役割や役職等について記入してください。 積極的に○○について取り組み、主に○○や○○などの係を担当している。
指導力	上記に関して、どのような指導力を発揮しているのかを記入してください。 ○○について積極的に指導を行っている。

上記に相違ありません。

20●●年●月●日

施設名 ●●総合病院

記載責任者 役職名 精神科病棟師長

氏名 東京 太郎

(自筆署名または押印)



* 直属の上司により記載し、記載者により厳封すること (開封無効)。

* 記入例を示しています * 年号の記入は西暦に統一してください

記入例3 以前の勤務先に記載を依頼する場合

* 青枠内の看護実務経験欄と記載責任者は、必ず記載してください。

(様式2) ①常勤用

受講資格審査 出願者勤務状況証明書

出願者が記載 (この欄は、ご自身で記入してください)

出願者氏名	日精看 花子			
勤務施設名 (施設ごとに作成)	医療法人●●会JPNA病院			
看護実務経験	精神科 関連	勤務期間(常勤)	年数	診療科名・部門の特性
		20●●年4月～20●●年12月	3年 8カ月	精神科救急入院料病棟50床 男女混合閉鎖病棟で隔離室5床 行動制限最小化委員会の係を担当
		年 月 ～ 年 月	年 カ月	
	他科	年 月 ～ 年 月	年 カ月	
		年 月 ～ 年 月	年 カ月	
		年 月 ～ 年 月	年 カ月	
	合計	3年 8カ月 (精神科看護の実務経験年数 3年 8カ月)		

上記の受講資格審査の出願者について、下記の内容に関してご回答いただきますようお願い申し上げます。
なお、記載は直属の上司とし、記載者により厳封をお願いいたします。

看護実践力	
役割	
指導力	

上記に相違ありません。

20●●年●月●日

施設名 医療法人●●会JPNA病院

記載責任者 役職名 看護部長

氏名 品川 香子

(自筆署名または押印)



* 直属の上司により記載し、記載者により厳封すること(開封無効)。

* 記入例を示しています * 年号の記入は西暦に統一してください

記入例4 産休・育休・休職などにより連続6ヵ月以上、職場を離れている期間がある場合

*例として、2013年4月から2014年3月まで職場を離れていた場合を示しています。

(様式2) ①常勤用

受講資格審査 出願者勤務状況証明書

出願者が記載 (この欄は、ご自身で記入してください)

出願者氏名	日精看 花子				
勤務施設名 (施設ごとに作成)	●●総合病院				
看護実務経験	精神科 関連	勤務期間(常勤)	年数	診療科名・部門の特性	
		2008年4月～2013年3月	5年 0カ月		精神科救急入院料病棟50床、措置入院や医療保護入院が多い。
		2014年4月～20●●年9月現在	4年 5カ月		精神科デイケア、生活習慣病のある患者を担当。
	他科	年 月 ～ 年 月	年 カ月		
		年 月 ～ 年 月	年 カ月		
		年 月 ～ 年 月	年 カ月		
	合計	9年 5カ月	(精神科看護の実務経験年数 9年 5カ月)		

職場を離れている期間がある場合はその期間を除いた勤務期間を記入

上記の受講資格審査の出願者について、下記の内容に関してご回答いただきますようお願い申し上げます。
なお、記載は直属の上司とし、記載者により厳封をお願いいたします。

看護実践力	職場での看護実践について記入してください。 看護実践においては、○○が優れている。
役割	職場で担っている役割や役職等について記入してください。 積極的に○○について取り組み、主に○○や○○などの係を担当している。
指導力	上記に関して、どのような指導力を発揮しているのかを記入してください。 ○○について積極的に指導を行っている。

上記に相違ありません。

20●●年●月●日

施設名 医療法人●●会JPNA病院

記載責任者 役職名 看護部長

氏名 品川 香子

(自筆署名または押印)



* 直属の上司により記載し、記載者により厳封すること(開封無効)。

* 記入例を示しています * 年号の記入は西暦に統一してください

記入例5 精神科医療機関以外に勤務している場合

(様式2) ①常勤用

受講資格審査 出願者勤務状況証明書

出願者が記載 (この欄は、ご自身で記入してください)


出願者氏名		日精看 花子		
勤務施設名 (施設ごとに作成)		医療法人●●会JPNA病院 訪問看護ステーション		
看護実務経験	精神科 関連	勤務期間(常勤)	年数	診療科名・部門の特性
		20●●年4月～20●●年1月	7年 9カ月	年間をとおして、統合失調症や認知症の利用者10件/月を訪問。
		年 月 ～ 年 月	年 カ月	
	他科	年 月 ～ 年 月	年 カ月	
		年 月 ～ 年 月	年 カ月	
		年 月 ～ 年 月	年 カ月	
	合計	7年 9カ月 (精神科看護の実務経験年数 7年 9カ月)		

上記の受講資格審査の出願者について、下記の内容に関してご回答いただきますようお願い申し上げます。
なお、記載は直属の上司とし、記載者により厳封をお願いいたします。

看護実践力	職場での看護実践について記入してください。 看護実践においては、〇〇が優れている。
役割	職場で担っている役割や役職等について記入してください。 積極的に〇〇について取り組み、主に〇〇や〇〇などの係を担当している。
指導力	上記に関して、どのような指導力を発揮しているのかを記入してください。 〇〇について積極的に指導を行っている。

上記に相違ありません。

20●●年●月●日

施設名 医療法人●●会JPNA病院 訪問看護ステーション
記載責任者 役職名 所長
氏名 訪問 看子 
(自筆署名または押印)

* 直属の上司により記載し、記載者により厳封すること (開封無効)。

* 記入例を示しています * 年号の記入は西暦に統一してください

3. 様式3について

- ・事例報告は下表に示した例を参考に、直近の1年間にかかわった多様な課題をもつ対象者に実践した看護を記載する。ただし、精神科医療機関以外の勤務の場合は直近の1年間に限定しない。また、精神科看護を必要としている方への看護であれば、精神疾患患者に限定しない。

多様な課題をもつ対象者の定義とその例

【多様な課題をもつ対象者の定義】

精神科看護における多様な課題をもつ対象者とは、精神症状や精神障害により治療上あるいは社会生活上の困難を生じている対象者のことである。下記の①に加えて②、③、④のいずれかの問題がある。

- ①精神症状・疾患：精神医療が関与する必要がある精神症状・疾患がある。
- ②パーソナリティ障害、知的障害、発達障害：不適応を起こす程度のこれらの障害がある。
- ③身体疾患：精神症状あるいは社会生活に影響を及ぼす程度の身体疾患がある。
- ④心理社会的、環境的問題：家族、教育、仕事、住居、経済的、保健医療機関の利用等の問題がある。

【入院されている方の場合の例】

- ・症状が重篤なケース（自傷他害の恐れが切迫している、薬物療法の効果が乏しいなど）
- ・発達段階を含めたアセスメントが必要なケース
- ・身体的なケアが必要なケース（身体合併症、薬物療法の副作用）
- ・家族の協力を得ることが困難なケース（家族がいない、本人と家族の関係性が悪化しているなど）
- ・患者との関係性を築くことが困難なケース（対象者の攻撃性が強い、スタッフが陰性感情を抱いているなど） など

【地域で生活をされている方の場合の例】

- ・サービス利用の調整や他機関との連携が必要なケース
- ・サービス提供に困難が生じているケース など

- ・様式3は看護過程の展開にそって情報を整理し、それぞれの項目について具体的に書くこと（記入例6）。
- ・看護記録の形式ではなく、報告書として文章を整え、A4用紙1枚にまとめる。
- ・「実践期間」欄は、実際に実践した期間を記入する。
- ・「看護の展開」欄は、個人情報保護に配慮する観点から個人を特定する情報（氏名、住所、生年月日、入院年月日、退院日など）は記載しない。例えば、入院年月日が令和3年3月の場合は、X年3月と記載する。
- ・事例は看護実践が効果的であったと思われるもの、看護実践に課題が残ったもののどちらでも差し支えない。

記入例6

(様式3)

*全ての項目を記入してください。

精神科看護実践事例報告書

あなたが直近の1年間にかかわった多様な課題(1名)に実践した看護を下記に記載してください。ただし、精神科以外に勤務している場合は1年間に限定しません。記載にあたっては対象者の個人情報の保護に配慮してください。

出願者氏名	(自筆署名) 日精看 花子
実践を行った施設名	●●総合病院
実践期間	20●●年9月 ~ 20●●年1月

自筆で記入

実際に実践した期間を記入
ここでは、X年で表記しない

A氏、X年など、個人情報の保護に配慮して記載する

看護過程の展開

ケースの概要	<p>年齢、性別、疾患名、これまでの経過など基本的な情報を簡潔に記述してください。</p> <p>A氏、60歳代後半の男性、疾患名は統合失調症。母親と二人暮らしで、母親はX年8月から病気のため入院中。一人で暮らすようになってから、近所の食堂やスーパーで独語をしている姿が目立つようになり、警察や保健所に近所の住民から相談があった。以降も同様の状態が続き、X年9月に突然、隣の家へ怒鳴り込んで玄関を壊して警察を呼ぶ騒ぎになり、警官に連れられ受診し、そのまま入院となった。</p>
アセスメント	<p>看護上の問題の根拠について文章で記述してください。</p> <p>A氏は以前より、近隣に対して「近所で発生させている電磁波のせいで母親の具合が悪くなった」という被害妄想があり、病識が不十分であった。母親が服薬管理していた時は病状も安定し、引きこもりに近い生活をしていた。日常生活の全てを母親に依存しており、母親の入院によって服薬中断し、生活が破綻した。近隣住民は、A氏に対する不安を強く訴えており、自宅への退院に際しては調整が必要である。</p>
看護診断または健康上の課題	<p>特に実践した看護上の問題を1~3つ程度挙げてください。</p> <p>#1 病識が不十分で服薬を継続することができない #2 セルフケアが欠如しており、単身での生活が難しい #3 自宅への退院に対して近隣住民の反対がある</p>
看護計画	<p>上記の看護上の問題を解決するために立てた看護計画を記述してください。</p> <p>#1: ①疾患や薬物療法に対する理解を促す心理教育を行う。 #2: ①セルフケアレベルをチェックする。②退院後の生活に必要なサービスや訪問看護などの導入を検討する。 #3: ①A氏に退院後の生活の思いを聞く。②退院後の支援者を調整しケア会議を開催。</p>
実施(実践内容)	<p>実際に実践した内容を文章で記述してください。</p> <p>A氏の訴えを傾聴し、早期の信頼関係の構築に努めた。入院に至った経緯をA氏と振り返り、近隣住民の反応等も伝えた。その上で、今後の生活に関するA氏の希望を聞き、退院後に向け話し合った。心理教育に積極的に参加する等、退院に向けてA氏は努力したが、近隣住民の反対が強く外泊するのに時間を要した。そのため、保健師を交えたケア会議を開催し、入院中に2回外泊することができた。</p>
評価(実施の結果)	<p>実施した結果、どのように変化したのかを文章で記述してください。</p> <p>生活の全てを母親に依存していたA氏は自分の生活をイメージするのが難しかったが、時間をかけて丁寧に聞いたことで具体的な看護計画が立案できた。近隣住民への対応は困難であったが、PSWと連携して保健師等の協力が得られた。</p>

*記入例を示しています

4. 参考資料 西暦・和暦 早見表

書類の記載は西暦に統一し、書き誤りがないようにご注意ください。

昭和26年	1951年
昭和27年	1952年
昭和28年	1953年
昭和29年	1954年
昭和30年	1955年
昭和31年	1956年
昭和32年	1957年
昭和33年	1958年
昭和34年	1959年
昭和35年	1960年
昭和36年	1961年
昭和37年	1962年
昭和38年	1963年
昭和39年	1964年
昭和40年	1965年
昭和41年	1966年
昭和42年	1967年
昭和43年	1968年
昭和44年	1969年
昭和45年	1970年
昭和46年	1971年
昭和47年	1972年
昭和48年	1973年
昭和49年	1974年
昭和50年	1975年

昭和51年	1976年
昭和52年	1977年
昭和53年	1978年
昭和54年	1979年
昭和55年	1980年
昭和56年	1981年
昭和57年	1982年
昭和58年	1983年
昭和59年	1984年
昭和60年	1985年
昭和61年	1986年
昭和62年	1987年
昭和63年	1988年
昭和64年	1989年
平成元年	
平成2年	1990年
平成3年	1991年
平成4年	1992年
平成5年	1993年
平成6年	1994年
平成7年	1995年
平成8年	1996年
平成9年	1997年
平成10年	1998年
平成11年	1999年
平成12年	2000年

平成13年	2001年
平成14年	2002年
平成15年	2003年
平成16年	2004年
平成17年	2005年
平成18年	2006年
平成19年	2007年
平成20年	2008年
平成21年	2009年
平成22年	2010年
平成23年	2011年
平成24年	2012年
平成25年	2013年
平成26年	2014年
平成27年	2015年
平成28年	2016年
平成29年	2017年
平成30年	2018年
平成31年	2019年
令和元年	
令和2年	2020年
令和3年	2021年
令和4年	2022年
令和5年	2023年
令和6年	2024年
令和7年	2025年

4. 研修会システム「マナブル」の利用登録

1. 利用登録の手順と受講資格審査の申し込み方法

- ・受講資格審査、精神科認定看護師教育課程の申し込みや受講は、研修会システム「マナブル」(以下、マナブル)により行う。
- ・マナブルの利用登録には、メールアドレスの登録が必須である。
- ・出願書類を郵送した後に、マナブルの利用登録を行い、以下の手順で申し込む(図 1~2)。なお、スマートフォンやタブレット端末などでは、画面表示が以下の図と異なる場合がある。

①日精看オンライン(https://jpna.jp)にアクセス

「2024 年度研修会」

⇒「研修会検索 & 申込サイト」の順にクリック



②マナブルのログイン画面にアクセス

・利用登録を行ったことがない場合

⇒新規登録をクリック

【注】会員の方は、会員証が手元に届いてから
新規登録を行うこと

・利用登録を行った場合

⇒ログイン ID、パスワードを入力してログイン

【注】新たに利用登録を行う必要はない

ログイン画面をお気に入り登録するとよい



●使い方が分からない場合

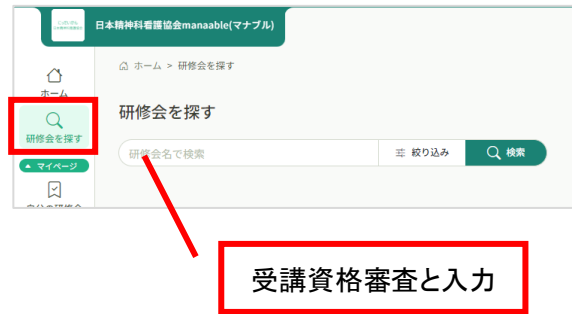
マナブルにログイン後、画面左下のマニュアルを
参照するとよい



図 1 マナブルへのアクセスからログインまでの流れ

③受講資格審査の検索

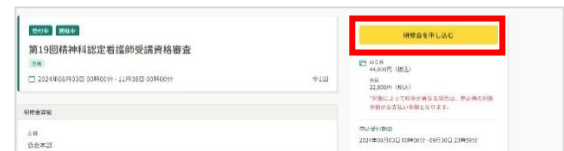
「研修会を探す」をクリックし、「受講資格審査」と入力し、検索をクリック



④「第19回精神科認定看護師受講資格審査」をクリック



⑤「研修会を申し込む」をクリック



⑥「個人として申し込む」をクリック

画面の下に表示される内容を確認し、必要事項を入力。
その後、画面の指示に従って操作し、確認画面が表示されたら、黄色の「研修会を申し込む」をクリックする



⑦申し込み完了

右図の申し込みが完了画面が表示された後、manaableに登録したアドレスにメールが自動送信される。
メールが受信できているか確認すること



図2 受講資格審査の申し込み方法

2. 注意事項

1) メールアドレスについて

- マナブルから送信されるメールが受信できるように、下記のドメインのメールが受信できるようにすること。
@manaable.com
- キャリアメールの仕組みで、キャリアによってはメール本文に URL が入っているだけでメールを受信できない仕様になっているものもある。そのため、Gmail や Yahoo メールなど、スマートフォンやパソコンやタブレットなど、どの端末でも問題なくメールを確認できるフリーメールで登録するとよい。

2) 支払について

- 受講資格審査料は、後日(10月上旬予定)、振込用紙を送付する。そのため、オンラインでの支払いを受け付けていないが、システム上、画面に表示される「お支払い」をクリックすると、以下の画面が表示される(図3)。画面に、「ページ下部お支払はこちらへ」と表示されるが、オンラインでの支払いを受け付けていないためボタンは表示されない。



図3 「お支払い」をクリックした後に表示される画面

5. 受講資格審査 出願手続きチェック表

* 提出前に、下記をご確認ください（チェック表の提出は不要）。

* 提出書類に不備がある場合は受理できませんので、ご注意ください。

項目	チェック	確認事項
① 出願書類について	様式1	指定の場所に出願者のカラー写真を貼付していますか
		出願者の署名が自筆（手書き）で記入されていますか
		看護師免許証の登録年月日・登録番号は正しく記載されていますか
		勤務期間は様式2の看護実務経験期間と合致していますか
	様式2	常勤の場合は「（様式2）①常勤用」、非常勤の場合は「（様式2）②非常勤用」を使用していますか
		直属の上司が記載後、記載責任者の署名または印鑑の押印があることを上司に確認しましたか
		厳封*されていますか
		看護師免許取得後の実務経験が5年以上で、そのうち精神科看護実務が3年以上となっていますか
		現在の所属施設で要件を満たさない場合は、以前の勤務施設毎に作成していますか
		「（様式2）②非常勤用」の看護実務経験について、常勤換算年数は正しく計算していますか
	様式3	出願者の署名が記入されていますか
		A4用紙1枚にまとめていますか
		個人情報の保護に配慮して記載をしていますか
		看護過程の展開に基づいて記載をしていますか
	免許証	看護師免許証のコピー（A4サイズ）を同封していますか（裏面に記載がある場合は、裏面もコピー）
	その他	共通科目の履修免除を希望する場合は、様式1の共通科目の履修免除の希望にチェックをいれ、特定行為研修修了証のコピー（A4サイズ）を添付しましたか
	書類の送り先	出願要項に記載されている住所になっていますか
②受講資格審査料	受講資格審査を会員価格で受ける場合、出願時点で会員証が手元に届いていますか	
③マナブル登録	研修会システム「マナブル」に登録し、研修会名「第19回精神科認定看護師受講資格審査」に申し込みましたか	

* 厳封とは書類を封入後、糊づけにて封を行い、記載責任者により割印を行うことで他者開封無効となります。